

たのう まちづくり楽集会2009

～つついと人の輪が広がるまちづくり活動の進め方～

まちづくり活動を行う中で、話がまとまらなかったり、うまく活動が進まなかったり、・・・と様々な課題が出てきます。そんな「ひっかかり」を「とっかかり」とする「きっかけ」を学びました。

今回は柳ヶ瀬エリアを舞台にしてまち歩きやワークショップを行い、まちづくり活動の進め方について学びました。

第1回 「まちのタンケン・ハッケン・ホットケン」

平成22年2月13日：日の丸会館

★グループに分かれて柳ヶ瀬エリアを探検し、まちを知ることから始めました。そこで見つけた魅力や心配な点を挙げて話し合い、「こんなまちにしたい」という提案をまとめました。



まちづくり
キーワード **やながせアピール**

第2回 「わがまちの宝を活かし、課題を解きほぐそう」

平成22年2月25日：柳ヶ瀬あい愛ステーション

★第1回で見て聞いて知った柳ヶ瀬。ここで「こんなまちづくりをしたいな」と、同じイメージを持った仲間が集い、「何をすればよいのか」「キーワードは何か」を話し合いました。



まちづくり
キーワード **ロマンと伝説**

第3回 「これからのわがまちの育み方を提案しよう」

平成22年3月4日：柳ヶ瀬あい愛ステーション

★第2回で多くの参加者の共感と呼んだキーワード、「(柳ヶ瀬の)都市伝説」。そこから、予め用意された柳ヶ瀬などにまつわる写真を使って、「こんな都市伝説のあるまちにしたいな」という話し合いをしました。どのグループも個性的な「柳ヶ瀬の都市伝説としてのまちづくり物語」を作り上げられました。

1グループ



『柳ヶ瀬ルネッサンス』

2グループ



『昔は未来』

3グループ



『ひみつの時計』

4グループ



『白屋夢』

これからの柳ヶ瀬まちづくりキーワード

- い 異空間をつなぐ一筋の光と路地 人こそ主人公
- ひょう 表情豊かな人々が次から次へと登場する
- つ つらい事件もポツ発するがおもしろいアクションも多発する
- く クレイジーな場所のワーブショック ワークショップはワーブショック!!
- た タイムスリップにとどまらず、昔と未来が共存する
- の のんびり、子どものイキイキ活動に未来を託そう
- し 幸せとカッコ良さのあるまちなか居住へ
- さ 幸い住むまちには次回作への期待感がうずまく

★意表つく楽しさ★

参加者の感想

- ・ 今日やったような自由な発想を実際のまちづくりにつなげていけるといいなと思いました。
- ・ 楽しく作業して楽しく考えていくと楽しいまちになるのでは。
- ・ はじめて参加した。いろいろな方と柳ヶ瀬について話せたので、いい体験になりました。



講師
延藤 安弘 先生

1940年大阪生まれ
愛知産業大学大学院教授。工学博士。
「NPO法人まちの縁側育み隊」代表理事



延藤先生名物の幻燈会

楽集会は毎回幻燈会から始まりました。独特の語り口調で聞く人を惹きつけ、絵本を通してやさしくまちづくりの世界へ誘います。他都市の事例も参考にしつつ、柳ヶ瀬の未来をみんなで切り拓いていこう！

今回紹介された絵本

- 『Belonging』 (Jeannie Baker, 作/訳)
- 『3びきのかわいいおおかみ』 (トリビザス文、オクセンバリー絵、こだまともこ訳、富山房)
- 『マドレンカ』 (ピーター・シス作、松田素子訳、BL出版)
- 『The Paradise Garden』 (Colin Thompson, Alfred A.knopf)